

月	テーマ	題 材	小 題 材	時 間	おもな活動(☆)と指導(・)	目 標	評価の観点	教材・教具
9月  10月  11月  12月	くふうして生活に生かそう		②くふうしてつくろう	7	☆製作計画を確認し、工夫して製作する。 ・作品見本や段階標本を参考にして、工夫して製作することができるようにする。 ・時間ごとに各自のめあてと進行状況を把握して、適切に支援していくようにする。	○製作の喜びや活用する楽しさがわかる。	○意欲的に製作し、活用する喜びを味わっている。(関) ○目的に応じた縫い方や手順などを考えたり工夫したりしている。(創) ○目的に応じて手縫いやミシンを用いた直線縫いで製作ができる。(技) ○製作に必要な用具の安全な取り扱いができる。(技) ○製作に必要な用具の安全な取り扱い方について理解している。(知) ○製作した物を自分の生活で活用し、改善点を考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創)	・作品見本 ・段階標本 ・布見本・材料見本 ・製作計画表 ・裁縫用具 ・ミシン ・活用例の写真
			③楽しく使おう	1	☆製作をふり返り、工夫したことや使ってみての感想などを話し合う。 ・実際に使ってみて、よかった点や役立ったことについてもまとめるようにする。			
		5 くふうしよう 楽しい食事 (12 時間)	①バランスのよいこんだてを考えよう	5	☆(ごはんとみそ汁を中心にした)1食分の献立を考える。 ・献立の考え方を参考に、栄養のバランスや色どり、味つけを考えて立てるようにする。 ☆立てた献立の栄養のバランスを確かめる。 ・3つの食品のグループに分けて、献立を見直し、食品を加えたり、別のおかずを助言したりする。	○栄養のバランスを考え、1食分の献立を立てることができる。	○毎日の食事に関心をもち、1食分の献立を立てようとしている。(関) ○身近な食品を使って調理しようとしている。(関) ○食事の役割を考え、整えようとしている。(関) ○栄養のバランスを考え、食品を組み合わせ1食分の献立を工夫している。(創) ○栄養のバランスを考えた1食分の献立の立て方について理解している。(知) ○調理に必要な材料や手順を考え、調理計画を自分なりに工夫している。(創) ○計画にそって工夫して調理している。(創) ○材料や目的にあった調理のしかたがわかる。(知) ○家族との楽しい食事を工夫しようとしている。(創) ○食事の役割や大切さについて理解している。(知) ○楽しく食事をするためのマナーについて理解している。(知)	・食品カード ・給食の献立表 ・食事の計画表 ・食品の分類表 ・料理カード ・デジタル教科書 ・調理実習計画表 ・調理のレシピ ・食品と分量のカード ・食事風景の写真
			②身近な食品でおかずをつくろう	6	☆身近な食品を組み合わせ、計画を立て、おかずをつくる。 ・(じゃがいもを例に)同じ食品でも調理のしかたによっていろいろな料理ができることに気づくようにする。 ・調理の時間配分や手順を工夫し、計画を立て、調理に取り組むようにする。			
			③家族と楽しく食事をしよう	1	☆家族と楽しく食事ができるよう考える。 ・食事のはたらきやマナーなどを知らせ、家庭で生かすようにする。			
		◆チャレンジコーナー			☆休日や冬休みなどに家庭実践をする。	学習したことを家庭生活に生かす。		・実践カード
1月  2月  3月	くふうして生活に生かそう	6 考えよう これからの生活 (9時間)	①わたしたちの生活と環境	4	☆(教科書の図を見ながら)身近な生活の環境について、気がついたことを話し合う。 ・気づいたことを発表しながら、自分の生活のしかたと環境とのかかわりを見つめ直していくようにする。	○自分や身近な人びとの生活や環境とのかかわりに気づき、快適な生活のしかたを工夫することができる。	○自分の生活のしかたと身近な環境とのかかわりに関心をもっている。(関) ○身近な環境をよりよくしようとしている。(関)	・計画カード ・フラッシュカード ・地域の環境図 ・指導書資料編
			②感謝の気持ちを伝えよう	4	☆身近な人びとへ感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践する。 ・これまでの学習を生かして、その子なりに考えた方法で実践していくようにする。			
			③人びとや環境とのかかわり	1	☆人びとや環境とのかかわりで、自分にできることを考え、よりよい生活をしようと、実践する。 ・家族や地域の一員として人や環境に配慮した生活をめざせるよう支援する。			
		成長したわたしたち (1 時間)		1	☆2年間の学習をふり返り、生活の中でできるようになったこと、工夫していること、また、これらを生かして今後どうしていきたいかななどを発表する。 ・成長を実感し、さらによりよい生活をめざしていくよう助言する。	○2年間の学習をふり返り、自分の成長を自覚し、よりよい生活のしかたを継続しようとすることができるようにする。	○2年間の家庭科で学んだことの活用のしかたがわかる。(知) ○2年間の家庭科学習をこれからの生活に生かそうとしている。(関)	・ふり返りカード ・指導書資料編